



# SAPIENTIA No. 21

発行 サピエンチア会 (聖トマス大学 英知大学同窓会) 〒 661-8530 兵庫県尼崎市若王寺 2-18-1 発行責任者 藤本滝三 編集 サピエンチア会

## ごあいさつ



文学部イスパニア文学科  
1973年卒  
サピエンチア会会長  
藤本 滝三

秋の風が頬に気持ちの良い季節となりました。皆様如何お過ごしですか。聖トマス大学は昨年募集停止を発表し今年の新入生の入学は有りませんでした。したがって現在の在校生は 2年生 78名、3年生 65名、4年生 14名で合計 284名でございます。

大学に足を運びますと閑散とし、昔の面影はございません。本当に淋しい限りでございます。しかし、そんな中でも今年

は例年よりも早く大学祭実行委員会が結成され、淋しく成ったキャンパスを少しでも盛り上げようと地域の方々と共に連携を保ちながら、11月3日に向けて頑張っています。

暗いニュースばかりの中で一条の光を見た思いがしました。思えば小田前学長が昨年11月3日の説明会の中で言っておられました「聖トマス大学を継続する為に只今2社の引き受け手と交渉しております。」今でもこの言葉通りに水面下で交渉が続けられているようですが、今はなんの回答も得られていません。今月こそ、今月こそ何か新しいニュースが有るのではと大学に連絡を入れながら、早や11月3日が来ようとしています。我々同窓会役員は大学が継続されるか否かに関係なく同窓会組織を何らかの形で継続してゆくことに心揺らぐものはありません。根気よく大学の交渉結果を待ち、継続される事が決まれば必ず皆様の元に朗報をお送りいたします。万が一継続されないと決定された場合、予算の関係上お知らせはホームページへの掲載のみとさせていただきます。



聖トマス大学学長  
スティーブンM・ライアン

同窓会の皆さん、こんにちは。聖トマス大学長のライアンです。学生時代に私から英語を学んだ同窓生がいますが、学長として初めての挨拶です。よろしくお願ひします。

初めて私が英知大学のキャンパスに来た日は、たまたまホームカミング・デイでした。門を入ると「ここは特別なところ。この大学は普通の雰囲気じゃない」という印象がありました。その日の岸先生との面談の時に何を聞かれたのか全く覚えていませんが、同窓生、在学生、教職員の暖かさは今でも強い印象として残っています。「英知大学のSpiriは強いね。ここに勤めてみたい」という感じで帰りました。

その日から今日まで、特別な「英知Spiri」があるところで勤めることができるとも恵まれていて感じています。「学生たち一人一人を大事にする」というのは、多くの大学のスローガンになっていると思いますが、このキャンパスでは本当に生きている言葉です。簡単な例ですが、研究室から教室までは2分で歩けるはずですが、10分くらい考えておかないといけません。途中で職員、学生、教員と出会うと、各自と挨拶以上の暖かい話をするのは英知Spiriの伝統です。

時々、数年前に卒業した学生がキャンパスに戻ってくるがあります。そのときによくある話は次のようです。「学生の時はあまり意識はなかったけど、社会人になって分かるようになったことですが、この大学は特別ですね。」

昨年は英知コミュニティにとって、とてもつらい年でした。6月28日に募集停止になって、涙に暮れたキャンパスでした。二度とそういう経験をしたい人はいないと思います。しかし、涙が出て、最悪のニュースがあっても、すぐ英知Spiriを感じました。同窓会から後援会から、尼崎の市民からだんだん声が大きくなりました。皆が同じことを言っていました。「何かしたい。何かすることがあれば、声をかけてください。」さすが英知Spiriですね。

そこから一年が経ちましたが、皆の努力のおかげで在学生の教育は続いています。カリキュラム外の活動も続いています。大学はしっかりと生きています。暖かい雰囲気毎日常あります。英知Spiriをより強く感じています。

皆さんの協力のもとに、引き続き在生中心に英知Spiriを守っていきたく思います。よろしくお願ひします。

2010年9月16日  
聖トマス大学学長  
スティーブンM・ライアン

### サピエンチア会ホームページのご案内

<http://www.sapiientiakai.com/>

お気に入りに登録をお忘れなく！

ご存知の通りサピエンチア会は収入の柱であった入会金が絶たれ、会の運営が困難な状況です。経費の中でも会報の印刷代、郵送費が大きなウエイトを占めております。今後は郵送からホームページへの掲載をもってご案内とすることは避けられません。大学の状況や卒業生へのご連絡等を発信しております。



## 第1号議案 2009年度活動報告

総括・・・・・・・・・・・・・・・・・・2009年4月1日～2010年3月31日

毎年我々の総会は皆様が集まりやすい11月3日、このホームカミングデイに合わせて開催させて頂いております。したがってこれらの報告内容は2009年4月1日より2010年3月31日の期間に成ります。

昨年の11月3日に小田前学長による募集停止の説明会があり、その中で『今後も聖トマス大学を残す為にあらゆる手段を講じ、実施してゆきます』との話がありました。現在も水底下でその話はなされている様です。我々役員はその話の経過に注視し、結果に対応出来るように待機しております。

学内は3月19日の卒業式を境に学生数が激減し、現在の在学学生数は28名と大変淋しく成りました。小田前学長を初めとして教職員の多数の方が退職されました。我々同窓生には胸の詰まる思いです。

同窓会としましては今後も現役学生が卒業するまで支援を行い、同窓生の方々がおられる限り活動を続けて行くつもりです。このような状況の中で活動した2009年度の報告をさせていただきます。

1. サピエンチア会役員の増強  
今期より新役員が2名増強されましたそしてさらなる強化を求めてべく同窓会のホームページ上で役員の公募をさせて頂き3名の方々に名乗りを上げて頂きました。
2. サピエンチア会事務局機能の充実  
2009年12月末でブルームデイズが解散し、以前事務局員をしていた宇野さんに役員として戻って頂き、新たに事務局員として就任して頂きました。彼の手で会費徴収のプログラムの不具合の修正を業者に依頼し、より迅速な対処出来るようになりました。
3. サピエンチア会会報の発行  
会報20号を2009年11月3日付で発行致しました。
4. サピエンチア会ホームページの充実とミクシーの開設  
大学の募集停止とともに学内での出来事が少なく、記事に取り上げることが少なくなりました。昨年の総会におきまして、同窓生の参加者より『ミクシーを使えるようにして双方向性の情報を共有してください。』との要望が出されました。これにつきましては役員の難波さんの尽力により、早速取り組みを開始致しました。皆様どしどしご意見をお寄せ下さい。
5. 助成に関して(助成に関しては全て役員の協議の上決定実行する)  
卒業時に大学祭実行委員会へ差し入れ卒業式において優秀学生へ功労賞を授与卒業生全員へ記念品の贈呈卒業式の献花
6. 中国人留学生との交流  
中国人留学生と現役学生との交流を深める為に体育館において6月20日卓球大会とバスケットボール大会を企画致しました。大会終了後懇親会に対して助成を致しました。そして卓球台を体育館からコロクトリウムに移設し、常時使えるように致し卓球セットは卒業生から寄付を頂きました。  
7月と8月の夏休みを利用して、同窓生の中から里親を募集し、留学生(約20名)の方々をそれぞれにお預かりするホームステイを行い、1泊2日で日本の一般家庭で過ごし、交流を深めました。

7. ボランティア活動を実施  
今年2月6日に吹雪の中で大学のボランティアセンターと地域の方々で藻川の清掃作業に参加しました。
8. サピエンチア会を残す意義(アイデンティティ)の策定と確立として実行役員の中ではサピエンチア会を残すというコンセンサスは取れています。この年間、特に昨年11月3日の募集停止の説明会で小田学長が『大学を継続して行く為の施策をこれからも続けてゆきます』と述べられた以降我々は大学の行動に注視してきました。『間もなく決定され発表される。』との情報は耳にするものの、その都度先送りされ、現在に至っています。廃校か継続か大変気をもむところではありますが、静観せざるを得ない状況です。
9. 活動資金の確保  
昨年度は『寄付金のお願い』を会報に同封し、またホームカミングデイ当日にも寄付金のお願いをさせて頂きました。  
寄付金合計 726,690円
10. 大学が、現2回生の学生達が卒業するまで本来の授業と有意義な学生生活が送れるよう運営することを監視していきます。  
監視及び協力していく事とし5・6・7を実行しました。

## 第2号議案 2009年度決算報告

サピエンチア会(英知大学・聖トマス大学同窓会)決算報告書  
自 2009年4月1日  
至 2010年3月31日

費目	金額	摘要
前年度繰越金	733,895	
同窓会入会金収入	640,000	32名 同窓会入会金収入
同窓会会費収入	0	終身会費及び年会費収入
受取利息	545	預金利息及び貸付金利利息
HCD売上	176,060	HCD出店売上
寄付金	726,690	郵便振替、HCD当日
大学からの借入金	800,000	
収入合計	2,343,295	
前年度繰越金を含む収入合計	3,077,190	

費目	予算	実績	摘要
旅費交通費	50,000	45,080	駐車場・交通費
通信費	40,000	39,723	電話/インターネット・切手代(会報・委任状は除く)
事務用品費	10,000	17,697	事務消耗品・コピー代等
会議費	5,000	0	お茶・菓子など
事務局維持費	200,000	212,790	アルバイト代(¥830円) 約397時間
委任状(印刷費・発送費)	330,000	171,490	会報及び委任状の印刷、郵送用
HCD開催費	450,000	366,562	HCD及び総会
助成金	100,000	27,680	球技大会支援・大学祭実行委員会
システム作成費	200,000	117,905	名簿・会計のメンテナンス、ホームページの維持費
献花費及び記念品費	220,000	86,106	卒業記念品代他(優秀学生表彰、卒業式献花)
雑費	10,000	6,090	振込手数料、残高証明、振込手数料など
借入金返済	800,000	800,000	英知学院
本年度支出合計	2,415,000	1,891,123	
次年度繰越金		1,186,067	
支出及び予備費合計		3,077,190	

### 『サピエンチア会へ寄付金(援助金)のお願い』



会計担当 野村 裕  
(1974年卒 英文学科)

同窓会会員の皆様、日頃からサピエンチア会活動にご支援を賜り、誌面上ではございますが、心から厚く御礼申し上げます。

昨年は、多数のご賛同をいただきご寄付、ホームカミングデイの当日を含め70万円強のご寄付を賜り感謝に耐え兼ね。誠に有難うございました。ご寄付いただきました皆様には些少ではありますが、感謝を込めてサピエンチア会より記念品を贈らせていただきました。

人間って弱いものですね・・・。  
目標や目指すものが鮮明でなくなるとあまり追い求めなくなるものなのでしょう。また、大学は存在してはいますが、将来像が今だ判明せず右往左往している状況です。大学という器が消えかけ、無くなりかけている中で我々サピエンチア会(同窓会)組織を存続・運営していくことの難しさを、この頃特に思いを深めているのは私だけでしょうか。

ある雑誌に「大学 総力ワイド特集」「壊れる 大学」などにある聖トマス大学の記事を目にしますと、情けなく、いまだに腹立たしい思いに駆られ「なぜ・・・」「何で・・・」という思いが益々つります。

今年のホームカミングデイ当日は、還暦同窓会が開催される予定です。また卒業何十周年記念同窓会、クラブ同窓会なども開催される予定です。

近年は、卒業生のミュージシャンの方々にも少額での出演をお願いしホームカ

ミングデイを盛り上げていただいております。

会員の皆様には、決算報告書(案)をご覧いただきましても、極力支出を押さえて年間約100万円の活動費で、それも前述いたしました昨年のご寄付70万円強含めての予算組であります。今度も会員の皆様全員に会報を送付させていただきますたいのはやまやまなのですが、予算の許す限りの送付になったことを陳謝いたします。

昨年の民間の平均給与は406万円。前年より23万7千円減で、下落幅は1943年以降最大の時代になる経済状況下、また、還暦を迎えられ退職される方が増えてくる現状の中で、昨年にもお願いしましたご寄付を、また今年もサピエンチア会活動へのご寄付・ご支援をお願いするのははなはだ心苦しい限りではございますが、お助け願えれば幸いです。

昨年も申し上げましたが、我々サピエンチア会は出来る限り半永久的に同窓会活動を存続させていきたいと考えており、その為にも会員皆様との交流、会報の発行、郵送費 ホームカミングデイの開催など運営資金が最低限必要になってきます。この現状をご理解いただき、昨年にかわりませずご支援を賜れば幸いです。

一人一人の絆を大切に共に手をとって苦難を皆で乗り越えていきたいと思っております。

毎年、役員の勝手なお願いとは思いますが、なにとぞ現状をご理解賜りご支援いただくことを切にお願い申し上げます。

### 第3号議案 2010年度事業計画

2009年11月3日大学祭当日、募集停止について小田前学長から説明会が大学構内において開催されました。その話の中で学長は『水面下において大学存続の為に社との交渉を継続中で有る』ことを話されました。(事業報告の中にも有りましたが)その後の経緯を探るべく多方面にアンテナを伸ばしていますが、未だ情報が流れてきません。厳しい緘口令が敷かれているようです。新しい動きが有りましたらホームページ上でお知らせいたします。

この様な不透明な状況ではありますが、継続的な組織運営を実践すべく次の事業計画案を提案をいたします。

1. サピエンチア会を継続して行く為の意義(アイデンティティ)の策定と確立、そして実行
2. 実行するために何が必要か?
  - a 人の充実・・・役員の確保と充実
  - b 物の充実・・・事務局の充実 ホームページの充実
  - c 資金の充実・・・活動資金の確保
  - d 関東支部の再構築・・・支部の維持と拡充
3. 大学側が現役の学生達の最後の一人が卒業するまで本来の授業と有意義な学生生活が送れるように運営することを監視していきます。
4. サピエンチア会事務局機能の充実
  - a 名簿管理・・・宛名不明者が350名おられますので引き続き探索をしていきます。
  - b 年会費・終身会費の徴収に関するプログラムの活用 今後も大切な資金管理を充実すべく努力していきます。
5. サピエンチア会会報の発行  
会報2号を発行(2010年11月3日)  
今年は資金の都合上、全員の方には発送されていません。  
ホームページには掲載いたしました。
6. サピエンチア会ホームページの充実  
URL <http://www.sapientiakai.com>  
EMAIL [jimukyoku@sapientiakai.com](mailto:jimukyoku@sapientiakai.com)  
ホームページの広告収入を新たな収入源にすべくページを作成いたします。
7. 助成に関して(すべて役員会で協議の上決定し実行をする。)
  - a 卒業式への献花および卒業生への記念品の贈呈
  - b 優秀学生への助成

### c 大学祭実行委員会への助成

#### 8. 大学側との協議会設置

ライオン新学長と協議し、『3か月に1度の割合でお会いして意見交換をしましょう』と言う事に成りました。しかし大学の置かれている立場上、話が出来ないことが多く、いまだ会議は開催されていません。

最後に、今回の総会開催のお知らせ及び委任状は、資金の関係上約1000名の方々に送らせて頂きました。郵送で届いていない方々はホームページ上で会報をご覧いただき、委任状をプリントアウトしてご送付下さい。委任状をお送りいただいた方々には次回以降資金が許す限り、優先的に郵送させていただきます。

#### 第4号議案 2010年度予算案

サピエンチア会 英知大学・聖トマス大学同窓会) 予算

自 2010年4月1日  
至 2011年3月31日

【収入の部】		(単位:円)
費用	金額	摘要
前年度繰越金	1,186,067	
同窓会年会費	0	
新入生入会金	0	
4回生入会金	600,000	30名
寄付金	300,000	郵便振替、HCD当日
HCD売上	200,000	
雑収入	0	
合計	2,286,067	

#### 【支出の部】

費目	予算	摘要
旅費交通費	50,000	駐車代・交通費
通信費	40,000	電話・インターネット・切手代(会報・委任状は除く)
事務用消耗品費	10,000	事務用消耗品・コピー代等
会議費	5,000	お茶・菓子等
事務局維持費	200,000	アルバイト代(＠830円) 約240時間
印刷費・発送費	400,000	会報及び委任状他
HCD開催費	400,000	HCD及び総会
助成金	50,000	大学祭実行委員会、等
システム費	200,000	名簿・会計のメンテナンス、ホームページの維持費
献花費及び記念品費	100,000	卒業記念品代他(優秀学生表彰、卒業式献花)
雑費	10,000	写真代、残高証明等
支出合計	1,465,000	
繰越金	821,067	次年度繰越金
合計	2,286,067	

### 昭和56年(1981年)度卒業生 同窓会のお知らせ



小林(久本)さん 島田(平松)さん  
尾崎(梶原)さん

去年のある日、新聞に大学名が変わったこと、また学生募集を中止するなどちょっと不安なことが目にとまりましたが、どうすることもできないまま生活をしていました。そしたら、11月友人からの一本の電話が。私の忘れかけていた学生生活を思い出してくれ、その友人と大学祭にどきどきしながら門をくぐり、なつかしい人と会って約30年前の話に泣いたり、笑ったりと大変でした。この学校の卒業生でよかったと思った一日でした。

#### 30年前にタイムスリップ!

ということで、この感動をもっと多くのみなさんと一緒に味わいたくて、8年卒業生の同窓会を企画しました。来春3月、私たちは卒業30年を迎えます。懐かしい笑顔が溢れる、懐かしいキャンパスで、楽しいひとときを私たちと一緒に過ごしませんか?懐かしい話を咲かせましょう!皆さんのお越しをお待ちしています!

なお、当日の出欠を下記連絡先までご連絡頂けると幸いです。

- ・E-Mail: [sapientians\\_1981@yahoo.co.jp](mailto:sapientians_1981@yahoo.co.jp)
- ・島田幸美 Tel/Fax: 072-948-7152
- 〒581-0036 大阪府八尾市沼 1-68-65-2-607



1981年卒業生同窓会幹事より



### 昭和48年(1973年)卒業生 祝還暦記念同窓会のお知らせ

厳しく長い夏も終わり朝夕はかなり肌寒を感じる今日この頃ですが皆様にはご健勝の内に精勤の事と存じます。

昭和48年3月に卒業以来早や37年が過ぎ、めでたく今年還暦を迎えました。この37年の間に皆様色んな出来事を経験されて来たと思います。そんな色んな話を咲かせ、西文科・英文科・仏文科・神学科関係なく一同に会ってワイワイと騒ぎましょう。今年の大学祭はキャンプファイヤーも準備しているようです。若く活気に溢れていた当時に戻りましょう!

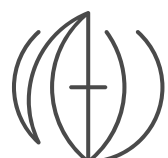
松本信愛先生にもお越し頂きます。

同窓会の会場は教室棟2号館1Fでございます。

当日はメインステージ・コロクトリウム・学生会館・教室棟1号館2F等におきまして色んなイベントや映画の上映が有ります。お孫さんにも喜んで頂ける催しが沢山ございますのでお楽しみに!(時間割や催しに関しましては少し変更が有るかも知れません)

還暦同窓会世話役会

#### あなたが学生のときの校章はどれかな?



## 昨年のホームカミングデイ



### 総会

募集停止という大変な事件の中での総会は予定をオーバーして真剣な会議が約 1時間半行われました。



### コンサート

卒業生の Chi-jaz'n のミニコンサート  
美しい歌声で会場を盛り上げていただきました。



### 屋台

中国からの留学生と一緒にたこ焼きを焼いて国際交流



### 再会

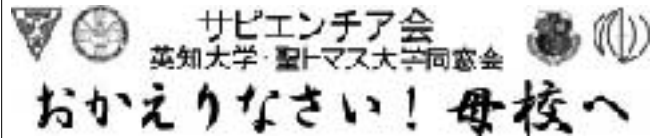
毎年、HODの出席者が増えているユースホステル部のみなさん。この日は30年ぶりの感激の再会で、思わず泣き笑いしてしまいました。

## サビエンチア会オフィシャルコミュニティ



mixi内にサビエンチア会公式コミュニティを作りました。会員の皆様からの発信はそちらでもできますので登録をお願いします。<コミュニティ IDは 4654332です>  
mixiに未登録で招待が必要な方は、jimukyoku@sapienchiakai.comまで、下記内容をご入力の上、メールをください。少々日にちがかかる場合もありますが、ご了承ください。  
(タイトル: mix招待、本文: お名前と住所、卒業年度、学科)

## ホームカミングデイのご案内



おかえりなさい! 母校へ

日時 2010年11月3日(祝)10:00~19:00

会場 教室棟2号館1F

今年は例年のコロクトリウムではありません



## スケジュール

- 10:00 物故者ミサ
- 11:00 総会
- 12:30 ホームカミングパーティ
- 15:30 平山修三ミライブ
- 18:00 キャンプファイヤー
- 19:00 終了



### 平山修三さん プロフィール



1978年文学部イスパニア文学科卒業  
大学在学中よりバンド活動を始める。大学卒業後、Sweet AreaバンドでLive活動をし、有名ミュージシャンのバックアップや共演をする。三重県のYAMAHAIJソート合歓の郷 専属ドラマー、京都 KENTO'S オーブンと共に京都に移り住み、ハウスバンドドラマーを勤める。平成8年3月のオープン時より、大阪帝国ホテルB1F パタパタ デラ サルサの音響、照明エンジニアとして勤める。

## 募集停止説明会のご報告

2009年11月3日(祝)本館階段教室において大学主催の説明会が開催されました。まず、最初に小田学長からここまでに至った経緯の説明を受けました。「少子化の中での大学経営の難しさ」そして次に一般教職員方のお考えも聞かせ頂きました。そのあと質疑応答の中で同窓生から沢山の質問が学長に向けられました。以下はこの説明会に対するアンケートの一部をご紹介します。

昭和46年卒 K.M

学長はじめ理事の方が他人事のように話をされるのが驚きでした。質問や意見に対して答えがかみ合っていない感がありました。過去の教授、神父様、シスター、学生達の歴史を作った事に対する熱い思いにも少し理解を示した答弁であるべきと思いました。

イスパニア文学科卒 Y.T

説明会の内容については理解出来ましたが、英知から聖トマスへ大学名を変更する必要があったのか? その変更にかかる費用をもっと違うところへ残せたのでは? その当たりの話がぼやけていた様に思います。

在校生 M.O

学生と保護者のために開かれた説明会の時に一つ、一枚の資料もありませんでした。質疑応答の時に保護者がそれについて触れ「今まであったお金をどのようにどう使って、どうしたからこのような状況に成ったのだ」と言う事を書いた物を作る様に求めました。2,3週間後に大学から資料が届きましたが、その紙には説明会で話された事、質問された事が書かれて有るだけで保護者が求めた物とは完全に的が外れていました。

という具合に「何故?」「どうして?」の気持ちしか残りませんでした。

「大学が無くなっても、私達の大学に対する思い出や思いが詰まったこの学び舎が、無くなったり、違う大学に成ってもこうやって毎年11月3日に集まる事が出来るのか? 本当に不安です」このお言葉が全ての同窓生の思うところでしょう。

サビエンチア会役員



小田前学長

## 編集後記

今年は会報を出すのはどう考えても無理だな!そんな声が役員会でも聞こえていました。勿論、これは募集停止による新入生からの入会金収入が無くなったことによる資金難からです。しかし、会報を作らないという事は、我々役員にとっては残念至極の思いです。お金を掛けずに何とか出来ないかと考えたあげく、8月になって、急遽手作りして会報を作ることになりました。

印刷屋に出さずに自分たちでレイアウトから全てをするのは始めてです。さらに急遽発行することになったために、印刷3日前になってもまだ原稿が揃わない状態でした。慣れないイラストレーターとフォトショップを格闘しながら、誤字脱字を見つけては修正し、やっとできました!

「見づらい!」「誤字があるぞ!」「何だ、このレイアウトは!」今回に関してはご容赦下さい。2月号まで続いたこの会報を絶やさずに発行できたことで、安堵しています。

今回は大学が存続するとい吉報を載せられませんが、次回2月号、いや号外で「大学存続!」という記事をお届けできることを願っております。



1978年イスパニア文学科卒  
篠原一夫